

3 各部局等の BSD 活動

令和7年度BSD活動報告(様式)

課名 学務部学務課

参考資料: 令和6年度に提出された自己評価及び令和7年度の改善に向けての取組み予定		
自己評価	令和6年度の自己評価	令和7年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和6年度BSD活動の自己評価及び総評	3	

【令和6年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下は、令和7年度の貴課の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会, BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修, 学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和7年度の実施回数、各回の講演会等の名称、開催日、テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜、行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 10回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
令和7年度第1回全学FD研修会	新任教員説明会<教育・学生編>	4月4日	2名	主催, 全体59名
令和7年度第2回全学FD研修会	大学院における分野横断型教育の意義と価値～ラボ・ローテーションを中心に考える～	7月16日	14名	主催, 全体58名
令和7年度第3回全学FD研修会	学士課程の共通教育に求められるコンセプトと設計～金沢大学共通教育改革を中心に～	10月21日	6名	主催, 全体130名
令和7年度第4回全学FD研修会	「FD活動報告書成果発表会」ー学類等における組織的FDの取組事例ー	12月5日	5名	主催, 全体41名
数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム 北信越ブロック 第6回シンポジウム	数理・データサイエンス・AI教育に係る高大接続の取組み紹介	8月29日	4名	主催, 全体89名
数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム 北信越ブロック 第7回シンポジウム	北陸観光DXIによるMDASH教育の深化	1月26日	4名	主催, 全体102名
大学コンソーシアム石川 令和7年度 第1回FD/SD研修	能登復興支援に関わる研究成果の社会実装	7月22日	1名	
大学コンソーシアム石川 令和7年度 第2回FD/SD研修	学生と向き合うために、まず自分を整える: 大学教育に活かす漢方の実践	8月25日	1名	
大学コンソーシアム石川 令和7年度 第3回FD/SD研修	学士課程の共通教育に求められるコンセプトと設計～金沢大学共通教育改革を中心に～	10月21日	1名	
大学コンソーシアム石川 令和7年度 第4回FD/SD研修	大学に進学するヤングケアラーへの支援のあり方	11月6日	1名	

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

--

○照会事項3 令和7年度BSD活動の自己評価及び総評並びに令和8年度の改善取組み予定

貴課での令和7年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組み予定を記載してください。

令和7年度の自己評価	総評	令和8年度の改善取組み予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。

3	本学主催のFD研修会やセミナー、及び外部機関が主催する研修会に参加し、教員のFD活動の支援並びに学生の学修環境の充実とともに、理解を深めた。	
---	---	--

【令和7年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

※BSDの定義

「**BSD** (バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2の3抜粋)

令和7年度BSD活動報告(様式)

課名 学務部基幹教育支援課

参考資料: 令和6年度に提出された自己評価及び令和7年度の改善に向けての取組み予定		
自己評価	令和6年度の自己評価	令和7年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和6年度BSD活動の自己評価及び総評	3	令和7年度も引き続き実施・参加する。

【令和6年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

以下は、令和7年度の貴課の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会, BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修, 学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和7年度の実施回数、各回の講演会等の名称、開催日、テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜、行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 1回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
令和7年度前期 学生相談担当者研修会	なんでも相談室の基本方針, ハラスメント防止ハラスメント相談への対応, 相談をうけるときの基本的な態度, 共通教育のカリキュラムや履修登録の方法等の説明をオンデマンドで実施した。	オンデマ ンド	4名	主催(全体参加者数14名)

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

国際基幹教育院主催FD研修会に毎回1～5名程度が参加している。

○照会事項3 令和7年度BSD活動の自己評価及び総評並びに令和8年度の改善取組み予定

貴課での令和7年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組み予定を記載してください。

令和7年度の自己評価	総評	令和8年度の改善取組み予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	「学生相談担当者研修会」は、毎年相談員となるメンバーが変わるため、継続した開催が必要と思われる。	令和8年度も引き続き実施・参加する。

【令和7年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2の3抜粋)

令和7年度BSD活動報告(様式)

課名 学務部学生支援課

参考資料: 令和6年度に提出された自己評価及び令和7年度の改善に向けての取組み予定		
自己評価	令和6年度の自己評価	令和7年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和6年度BSD活動の自己評価及び総評	3	教職員のニーズを反映した講師・内容で、自死防止に関する研修会を継続して開催する。

【令和6年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

以下は、令和7年度の貴課の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会、BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修、学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和7年度の実施回数、各回の講演会等の名称、開催日、テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜、行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 1 回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
学生・教職員の自死防止のための研修会	大学における自殺予防と支援ー臨床と災害支援の現場から	12月18日	4名	学生自死防止専門委員会主催、全学FD委員会共催、全体60名

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

保健管理センターや障がい学生支援室、就職相談窓口の有機的な連携に事務職員も貢献し、対応状況を共有することでBSDにつなげている。

○照会事項3 令和7年度BSD活動の自己評価及び総評並びに令和8年度の改善取組み予定

貴課での令和7年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組み予定を記載してください。

令和7年度の自己評価	総評	令和8年度の改善取組み予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	令和6年能登半島地震、令和7年の集中豪雨発災後、災害後のメンタルヘルスの問題をテーマとして研修会を開催し、具体的なデータをもとに集団の健康課題への考え方を学び、学生支援の強化につながった。また、平素から複数窓口の連携が必要な問題のある学生に関し、事務職員も積極的に関与することがOJTに結びついている。	教職員のニーズを反映した講師・内容で、自死防止に関する研修会を継続して開催する。

【令和7年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2の3抜粋)

令和7年度BSD活動報告(様式)

課名 学務部キャリア支援課

参考資料: 令和6年度に提出された自己評価及び令和7年度の改善に向けての取組み予定		
自己評価	令和6年度の自己評価	令和7年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和6年度BSD活動の自己評価及び総評	3	

【令和6年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

以下は、令和7年度の貴課の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会, BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修, 学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和7年度の実施回数、各回の講演会等の名称、開催日、テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜、行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 4 回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
国立大学キャリア支援担当者情報交換会	各国立大学のキャリア支援担当者とのキャリア支援等に関する情報交換	8月22日	3名	大阪大学主催
筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター「障害者高等教育拠点」事業 第16回FD/SD研修会「視覚障害学生の就職と就活支援」	視覚障害学生の就職, キャリア支援	8月27日	1名	筑波技術大学主催
学生・教職員向け説明会～就労支援の選択肢を知る～	就労支援に関する社会資源, 具体的な就労支援内容や事例	8月29日	3名	ヴィストキャリア主催
大学等と企業との就職に関する情報交換会	大学と企業との就職支援に関する取組, 就職状況等に関するディスカッション	10月20日	2名	金沢市主催

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

--

○照会事項3 令和7年度BSD活動の自己評価及び総評並びに令和8年度の改善取組み予定

貴課での令和7年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組み予定を記載してください。

令和7年度の自己評価	総評	令和8年度の改善取組み予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	各機関で実施している研修や情報交換会への参加を通して、職員の知識向上やスキルアップに努めている。また、研修等で得た情報については、課内で情報共有している。	

【令和7年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2の3抜粋)

令和7年度BSD活動報告(様式)

課名 学務部入試課

参考資料: 令和6年度に提出された自己評価及び令和7年度の改善に向けての取組み予定		
自己評価	令和6年度の自己評価	令和7年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和6年度BSD活動の自己評価及び総評	3	

【令和6年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

以下は、令和7年度の貴課の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会, BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修, 学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和7年度の実施回数、各回の講演会等の名称、開催日、テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜、行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 1 回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
令和8年度入学選抜試験(一般選抜)合格者判定資料等に関する説明会	主体性評価方法及び合格者判定資料等についての説明をオンデマンドで実施	1月20日～ 1月30日	6名	主催, 全体93名

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

令和8年度入学選抜試験(一般選抜)事務担当者打ち合わせ会及び案内業務説明会を、令和6年度に引き続きオンデマンド形式で実施し、繁忙期においても担当者がいつでも繰り返し内容を確認可能とした。

○照会事項3 令和7年度BSD活動の自己評価及び総評並びに令和8年度の改善取組み予定

貴課での令和7年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組み予定を記載してください。

令和7年度の自己評価	総評	令和8年度の改善取組み予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	オンデマンドによる説明会のため、開催期間中、各自のペースで繰り返し視聴することが可能であり、令和8年度入学選抜試験を無事に実施することができた。	

【令和7年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2の3抜粋)

令和7年度BSD活動報告(様式)

課名 融合系事務部学生課

参考資料: 令和6年度に提出された自己評価及び令和7年度の改善に向けての取組み予定		
自己評価	令和6年度の自己評価	令和7年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和6年度BSD活動の自己評価及び総評	3	引き続き、融合学域FD研修会、融合学域教員研究シーズ紹介、各学類ワークショップ、及び新学術創成研究科FD研修会等に参加する。 教員との貴重な情報共有の場であるため、事務職員の参加人数を増やす。

【令和6年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

以下は、令和7年度の貴課の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会、BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修、学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和7年度の実施回数、各回の講演会等の名称、開催日、テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜、行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 22 回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数 (概数)	備考
第25回融合学域FD研修会	「GPS-Academic(問題解決力測定テスト)の概要説明、前年度結果報告など」	令和7年7月31日	4名	全体25名
第26回融合学域FD研修会	「研究者倫理について」	令和7年9月4日	7名	全体47名
融合系の将来検討会	融合とは何か?融合学域設置の経緯、各教員の考え等について意見交換	令和7年5月22日	7名	全体40名
産学連携、研究推進に関する制度説明	共同研究制度改革等	令和7年6月12日	6名	全体50名
ハラスメント研修会	「ハラスメントの防止ーハラスメントのない大学を目指してー」	令和7年12月11日	6名	全体44名
研究シーズ紹介	融合研究域教員の研究紹介	令和8年1月8日	6名	全体55名
研究シーズ紹介	融合研究域教員の研究紹介	令和8年2月12日	6名	全体55名
研究シーズ紹介	融合研究域教員の研究紹介	令和8年3月12日	6名	全体49名
先導学類懇談会	教育課程、学生指導等について意見交換	令和7年8月29日	7名	全体20名
先導学類懇談会	教育課程、学生指導等について意見交換	令和7年10月15日	7名	全体19名
先導学類懇談会	教育課程、学生指導等について意見交換	令和7年10月31日	7名	全体19名
先導学類懇談会	教育課程、学生指導等について意見交換	令和7年11月19日	7名	全体20名
先導学類懇談会	教育課程、学生指導等について意見交換	令和8年1月13日	7名	全体21名
観光デザイン学類懇談会	教育課程、学生指導等について意見交換	令和7年4月18日	7名	全体18名
観光デザイン学類懇談会	教育課程、学生指導等について意見交換	令和7年7月23日	7名	全体21名
観光デザイン学類懇談会	教育課程、学生指導等について意見交換	令和7年9月8日	7名	全体20名
観光デザイン学類懇談会	教育課程、学生指導等について意見交換	令和7年10月22日	7名	全体22名
観光デザイン学類懇談会	教育課程、学生指導等について意見交換	令和7年12月22日	7名	全体21名
スマート創成科学類懇談会	教育課程、学生指導等について意見交換	令和7年6月30日	7名	全体22名

スマート創成科学類懇談会	教育課程、学生指導等について意見交換	令和7年10月23日	7名	全体19名
新学術創成研究科 融合科学共同専攻FD研修会	融合人材の育成について (JAISTと合同実施)	令和7年12月12日	1名	全体9名 他JAIST教員
新学術創成研究科 ナノ生命科学専攻FD研修会	教員のためのリスクマネジメント～ハラスメント の加害者とならないために～	令和8年3月13日	2名	全体12名

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会（FD研修会を除く）の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

--

○照会事項3 令和7年度BSD活動の自己評価及び総評並びに令和8年度の改善取組み予定

貴課での令和7年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組み予定を記載してください。

令和7年度の自己評価	総評	令和8年度の改善取組み予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	融合学域FD研修会、融合学域教員研究シーズ紹介、及び学類ワークショップに参加し、教員との情報共有を行った。 新学術創成研究科各専攻のFD研修会に参加し、JAIST教員も含めて、教員の研究内容や、各専攻における課題の共有を図ることができた。	引き続き、融合学域FD研修会、融合学域教員研究シーズ紹介、各学類ワークショップ、及び新学術創成研究科FD研修会等に参加する。 教員との貴重な情報共有の場であるため、事務職員の参加人数を増やす。

【令和7年度の自己評価】 4:大いに評価できる, 3:概ね評価できる, 2:あまり評価できない, 1:ほとんど評価できない

※BSDの定義

「**BSD**（バックアップ・スタッフ・ディベロップメント）」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。（「金沢大学におけるFD活動指針」第2の3抜粋）

令和7年度BSD活動報告(様式)

課名 人間社会系事務部学生課

参考資料: 令和6年度に提出された自己評価及び令和7年度の改善に向けての取組み予定		
自己評価	令和6年度の自己評価	令和7年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和6年度BSD活動の自己評価及び総評	3	

【令和6年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

以下は、令和7年度の貴課の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会, BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修, 学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和7年度の実施回数、各回の講演会等の名称、開催日、テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜、行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 3 回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
障がいのある学生の合理的配慮に関する研修会	障がい学生支援について	4月28日	6名	
学生の自死防止のための研修会	大学における自殺予防と支援	12月18日	10名	
人間社会学域FD研修会	教員のためのリスクマネジメント ～ハラスメントの加害者にならないために～	2月3日	3名	

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

--

○照会事項3 令和7年度BSD活動の自己評価及び総評並びに令和8年度の改善取組み予定

貴課での令和7年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組み予定を記載してください。

令和7年度の自己評価	総評	令和8年度の改善取組み予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	課独自に研修を行うことは負担が大きいことから難しいものの、業務効率化及び学生系に関わるテーマの研修会を活用し、BSD活動を行うことが出来た。	

【令和7年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2の3抜粋)

令和7年度BSD活動報告(様式)

課名 理工系事務部学生課

参考資料: 令和6年度に提出された自己評価及び令和7年度の改善に向けての取組み予定		
自己評価	令和6年度の自己評価	令和7年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和6年度BSD活動の自己評価及び総評	3	

【令和6年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

以下は、令和7年度の貴課の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会, BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修, 学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和7年度の実施回数、各回の講演会等の名称、開催日、テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜、行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 2 回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
自然科学研究科 博士人材育成に係るFD研修	博士人材の獲得・育成	11月19日	5名	主催, 全体68名
理工学域・自然科学研究科 第17回FDシンポジウム	理工系PBL科目の実践とPBLを軸としたカリキュラム設計	3月11日	3名	主催, 全体75名

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

--

○照会事項3 令和7年度BSD活動の自己評価及び総評並びに令和8年度の改善取組み予定

貴課での令和7年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組み予定を記載してください。

令和7年度の自己評価	総評	令和8年度の改善取組み予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	FDシンポジウムでは、事前に教員からの質問を集めることで、東京都市大学でのPBL科目の実践例や授業設計例を実際の授業でどのように活用するかという具体的な内容を共有することができ、教員のFD活動を支援できた。また、博士人材育成に特化したFDにおいても、各専攻での具体的な事例を紹介するかたちとしたことで、実務に直結した研修とすることができた。	

【令和7年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2の3抜粋)

令和7年度BSD活動報告(様式)

課名 医薬保健系事務部学生課

参考資料: 令和6年度に提出された自己評価及び令和7年度の改善に向けての取組み予定		
自己評価	令和6年度の自己評価	令和7年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和6年度BSD活動の自己評価及び総評	4	

【令和6年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

以下は、令和7年度の貴課の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会, BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修, 学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和7年度の実施回数、各回の講演会等の名称、開催日、テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜、行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 7 回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
第1回医学系FD「金沢大学医学類の使命」	金沢大学医学類の使命	オンデマンド	3名	
第2回医学系FD「医学類カリキュラムについて」	医学類カリキュラムについて	5月14日	3名	
第3回医学FD研修会「隠岐での実践, 総合診療医養成～ゲームチェンジャとなるために～」	隠岐での実践, 総合診療医養成	6月6日	3名	
第4回医学FD研修会「Post-CC OSCEにおけるIRT導入～課題数削減と評価者の列間・課題間移動～」	Post-CC OSCEにおけるIRT導入	7月14日	3名	
第5回医学FD研修会「ハラスメントの防止に向けて」	ハラスメント防止に関する講習	9月12日	3名	
第6回医学FD研修会「チーム医療マインドの醸成に向けた多職種連携教育の展開」	多職種連携教育の実践	11月28日	3名	
学生の自死防止のための研修会(金沢大学学生自死防止専門委員会)	大学における自殺予防と支援ー臨床と災害支援の現場から	12月18日	3名	

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

--

○照会事項3 令和7年度BSD活動の自己評価及び総評並びに令和8年度の改善取組み予定

貴課での令和7年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組み予定を記載してください。

令和7年度の自己評価	総評	令和8年度の改善取組み予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
4	令和5年度より設置の医療人材教育研究センターによるFD研修会と合同で医学系FD研修会を実施しており、事務職員が参加しやすい環境が整っている。	

【令和7年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学

におけるFD活動指針」第2の3抜粋)

令和7年度BSD活動報告(様式)

課名 医薬保健系事務部薬学・がん研支援課

参考資料: 令和6年度に提出された自己評価及び令和7年度の改善に向けての取組み予定		
自己評価	令和6年度の自己評価	令和7年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和6年度BSD活動の自己評価及び総評	3	

【令和6年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

以下は、令和7年度の貴課の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会, BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修, 学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について, 令和7年度の実施回数, 各回の講演会等の名称, 開催日, テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜, 行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 1 回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
薬学4年制課程卒業生の薬剤師国家試験受験資格認定に関する勉強会	薬学4年制課程の卒業生が薬剤師国家試験受験資格を取得できる制度について, 制度の概要や手続きに必要な知識の勉強会を行った。	9月25日	2名	

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

--

○照会事項3 令和7年度BSD活動の自己評価及び総評並びに令和8年度の改善取組み予定

貴課での令和7年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組み予定を記載してください。

令和7年度の自己評価	総評	令和8年度の改善取組み予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	「研修」という形式にまでは至らないものの、日常業務のOJTによる教務システムや教員が利用するWebClassの使い方などの知識向上やスキルアップに努めている。また、専門部署や関係教員等にアドバイスを求め、その内容等の情報共有を課内で密に行っている。	

【令和7年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2の3抜粋)

令和7年度BSD活動報告(様式)

課名 医薬保健系事務部保健学支援課

参考資料: 令和6年度に提出された自己評価及び令和7年度の改善に向けての取組み予定		
自己評価	令和6年度の自己評価	令和7年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和6年度BSD活動の自己評価及び総評	3	

【令和6年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

以下は、令和7年度の貴課の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会, BSD関連の各種研修等(教員向けFD活動を活用したBSD研修, 学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和7年度の実施回数、各回の講演会等の名称、開催日、テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜、行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 3 回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備 考
令和7年度第1回保健学系FD研修会	障害者との接し方 ー障害者スポーツ指導の経験からー	令和7年8月6日(水)	3名	全体43名
令和7年度第2回保健学系FD研修会	ハラスメントの防止 ーハラスメントのない職場を目指してー	令和7年10月1日(水)	7名	全体71名
令和7年度第3回保健学系FD研修会	「生成AIの講義利用」について	令和7年12月3日(水)	4名	全体49名

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。
 ※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

○照会事項3 令和7年度BSD活動の自己評価及び総評並びに令和8年度の改善取組み予定

貴課での令和7年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組み予定を記載してください。

令和7年度の自己評価	総評	令和8年度の改善取組み予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	現在の学生の思考や行動、障害者ケア・こころの健康のサポート、ハラスメント防止、生成AIをテーマとした教員向けのFD研修会への参加を通じて、学生への支援のあり方について理解を深めることができた。	

【令和7年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

※BSDの定義

「**BSD**(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2の3抜粋)

令和7年度BSD活動報告(様式)

課名 国際部留学企画課

参考資料: 令和6年度に提出された自己評価及び令和7年度の改善に向けての取組み予定		
自己評価	令和6年度の自己評価	令和7年度の改善に向けての取組み予定
照会事項3 自己評価及び総評 令和6年度BSD活動の自己評価及び総評	3	

【令和6年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

以下は、令和7年度の貴課の実施状況等を回答願います。

○照会事項1 BSD研修会の実施状況

BSD講演会, BSD関連の各種研等(教員向けFD活動を活用したBSD研修, 学生の心身の保護やキャリア形成を促進する学生支援等を図るための研修等を活用したBSD研修)について、令和7年度の実施回数、各回の講演会等の名称、開催日、テーマ(内容)及び参加人数を記入してください。(適宜、行を追加してください。)(総務部職員課が主催等している研修の記載は不要です。)

実施回数: 5 回

名称	概要テーマ(内容)	開催日	参加人数(概数)	備考
入国管理行政・申請取次制度講習会	入国管理局業務の最新情勢と申請取次制度	7月18日	3名	主催, 全体62名
留学生受入れ事例セミナー	亜細亜大学ならではの留学生サポート体制, 奨学金制度, 受入後に発生する課題と解決方法など	8月5日	1名	Mediment主催
金沢大学教学マネジメントセンター R7年度第1回FD/SDラウンジ	Excelと生成AIを活用したデータ集計・可視化の方法を学ぶ	12月23日	1名	金沢大学教学マネジメントセンター主催
LGBTQ+対応研修	トランスジェンダーが抱える困難と人権	1月30日	3名	金沢大学ダイバーシティ推進機構
2025年度金沢大学 学生海外派遣プログラム担当・現地引率教職員等向け海外危機管理セミナー	学生海外派遣プログラム引率者が知っておくべき危機管理情報, 事例	オンデマンド	1名	主催(コース管理者)

※参加人数は、貴課の参加人数を記載してください。

※備考欄は、学外の大学等が主催する研修会の場合は主催名を記載してください。また、所掌する委員会等が主催する研修会(FD研修会を除く)の場合は、「主催」と全体の参加者数を記載してください。

○照会事項2 その他の活動状況

貴課において、上記以外のBSD活動を行っている場合は、記入してください。

--

○照会事項3 令和7年度BSD活動の自己評価及び総評並びに令和8年度の改善取組み予定

貴課での令和7年度のBSD活動全体について、自己評価及び総評並びに来年度の改善取組み予定を記載してください。

令和7年度の自己評価	総評	令和8年度の改善取組み予定 自己評価で「あまり評価できない」又は「ほとんど評価できない」の場合は、必ず記載してください。
3	留学生の受入及び学生派遣に係る事例, 生成AI, LGBTQなど多岐分野に渡る研修を受講することによって、幅広い知識を身に着けることができ、実際の業務に活かすこともできた。	

【令和7年度の自己評価】 4: 大いに評価できる, 3: 概ね評価できる, 2: あまり評価できない, 1: ほとんど評価できない

※BSDの定義

「BSD(バックアップ・スタッフ・ディベロップメント)」とは、SD活動のうち、教員のFD活動を支援すること、学生の心身の健康を保護すること、及びキャリア形成を促進する等の学生支援を図るための職員の研修等の自発的取組みをいう。(「金沢大学におけるFD活動指針」第2の3抜粋)

3-1 照会事項 1 BSD 研修会の実施状況

(参考)

	名称	内容	参加人数 (概数)	備考
	令和7年度金沢大学初任者研修	事務・技術系の初任職員に対して、本学の基本的事項について講義、見学体験等の多様なプログラムを提供し、「金沢大学職員」としての基礎的な能力を身につけさせることにより、今後の大学事務執行の円滑化を図る。	17名	金沢大学
	令和7年度金沢大学初任者研修 (フォローアップ研修)	本研修は、以下の事項を目的として実施する。 ・主に本学の未来ビジョンを理解し、大学が直面する課題や将来の方向性について洞察を得ることで、本学職員として広い視野を養う。 ・自身の業務経験を振り返り、成長を自覚し、モチベーションを持続・向上させる。 ・先輩職員との交流を通じて仕事への不安や悩みを軽減し、中長期的なキャリア形成を考える機会とする。	14名	金沢大学
	令和7年度人事評価研修(評価者研修)	人事評価制度を有効に活用することにより、本学職員の能力開発、意欲向上に寄与するため、対象者に本制度の意義や適切な目標設定等について理解させるとともに、評価者に共通の尺度や評価眼を養成し、公正・公平な評価を行うためのスキルとフィードバックのためのスキルを習得させることを目的とする。	46名(オンライン)	金沢大学
	令和7年度部内研修「AI開発入門研修」	「Pythonとは何か」という初歩的な内容から、Pythonで機械学習を行うまでの流れを学ぶ。沢山の演習問題を通して、機械学習をどのように活用するのかの理解を深める。	17名	金沢大学
	令和7年度北陸地区国立大学法人等初任者研修	新たに採用された事務系・技術系職員に対し、国立大学法人等事務に関する基礎的知識を修得させ、事務能力の増進を図ることを目的とする。	17名	金沢大学
	令和7年度北陸地区国立大学法人等マネジメント研修	国立大学法人を取り巻く環境が大きく変化する中、大学の事務組織には、変化に即応し、課題を解決する能力が求められる。そのためには、管理職が組織の力を最大限に活用することが必要であることから、それらを実現するための、マネジメント能力の向上を図ることを目的とする。	13名	金沢大学
	令和7年度北陸地区国立大学法人等中堅職員研修	北陸地区国立大学法人等の中堅職員に対し、役割認識と職務に必要な知識及び能力を付与することにより、職務遂行能力の増進を図ることを目的とする。	12名	富山大学

3-1 照会事項1 BSD 研修会の実施状況

	名称	内容	参加人数 (概数)	備考
	令和7年度北陸地区国立大学法人等新任係長・専門職員研修	北陸地区国立大学法人等の係長・専門職員としての心構え及び職務遂行に必要な基本的、一般的知識を修得させるとともに、係長・専門職員としての能力及び識見を確立させ、国立大学法人等の管理運営の重要な担い手としての資質向上を図ることを目的とする。	20名	北陸先端科学技術大学院大学
	令和7年度北陸地区国立大学法人等リーダーシップ研修	北陸地区の国立大学法人、独立行政法人国立高等専門学校機構及び独立行政法人国立青少年教育振興機構の機関（以下「国立大学法人等機関」という。）の管理職員に対し、立場と役割を認識し、能力及び識見を確立させ、職員としての資質向上を図ることを目的とする。	8名	福井大学
	第21・22回中部地区メンター養成研修	職場におけるメンター、メンタリングに関する基本的な知識とコミュニケーション・スキルを習得させる。	5名	人事院中部事務局
	第14回国立六大学事務職員研修会	本研修会は、千葉大学、新潟大学、金沢大学、岡山大学、長崎大学及び熊本大学の国立六大学の事務職員が、国立六大学連携コンソーシアムの趣旨を踏まえ、その具体的な連携・協力の推進や、大学間の垣根を越えた職員同士のネットワークの構築などを目的として実施するものである。	4名	新潟大学
	石川県研修「行政クレーム対応研修」	行政クレームへの対処方法を学ぶとともに、円滑な県民応対に資するコミュニケーション能力の向上を図る。	4名	石川県自治研修センター
	石川県「コーチングスキル研修」	部下や後輩の育成にあたり、主体的に行動することができる職員を育成するためのコミュニケーション方法をはじめとしたコーチングのスキルについて習得する。	6名	石川県自治研修センター
	令和7年度東海・北陸地区国立大学法人等人事担当者（係長級以下）研修	この研修は、東海・北陸地区の国立大学法人、大学共同利用機関法人、独立行政法人国立高等専門学校機構及び独立行政法人国立青少年教育振興機構の機関（以下「国立大学法人等機関」という。）の人事担当者（係長級以下）に対し、役割認識と職務に必要な知識及び能力を付与することにより、法人職員の資質の向上と職務遂行能力の増進を図ることを目的とする。	2名	名古屋工業大学
	令和7年度東海・北陸地区国立大学法人等会計事務職員研修会	東海・北陸地区国立大学法人等の事務職員に対して、国立大学法人会計基準等に関する知識を習得させ、かつ、国立大学法人等職員として必要となる見識を研修することにより、各職員の資質の向上を図ることを目的とする。	4名	愛知教育大学

3-1 照会事項1 BSD 研修会の実施状況

	名称	内容	参加人数 (概数)	備考
	令和7年度国立大学法人等施設 担当職員研修会(初任クラス)	国立大学法人等の施設担当職員として自己の能力を十分に発揮できるよう、国立大学法人等の現況や動向などの概論について理解させるとともに、国立大学法人等の施設整備に係る多様な業務について、初任職員として必要な基礎的知識を習得させる。また、グループごとに課題テーマに対して全員で討議を行い、メンバーの相互コミュニケーションを通じてテーマに対する理解を深め、今後、業務に生かすことのできる人的ネットワークの構築を図る。	2名	国立大学協会
	令和7年度国立大学法人等施設 担当職員研修会(中堅クラス)	国立大学法人等の施設担当職員のうち、中堅職員を対象として、施設整備を巡る現状と課題についてその知識を深めるとともに、人的ネットワークを構築・活用し、将来の大学経営を担う人材育成することを目的として、施設担当者職員研修を実施する。	4名	国立大学法人 等施設担当部 課長会 一般社団法人 国立大学協会 東京地区支部 及び関東・甲信 越地区支部